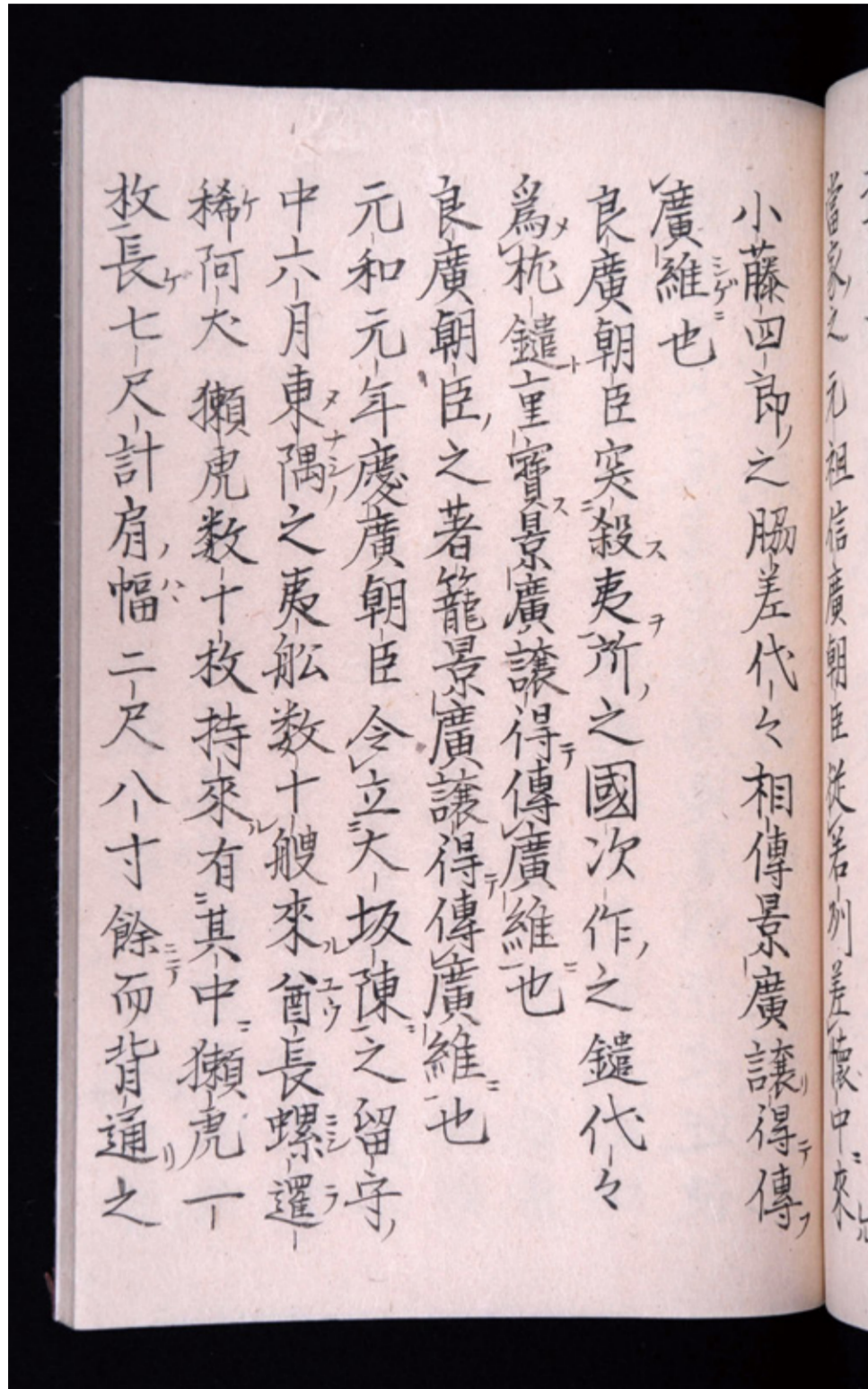


松前藩と蝦夷地

新羅之記録

日本が北方領土や千島列島のことを知ったのは、江戸時代の初め頃と言われています。松前藩の「新羅之記録」には、1615年(元和元年)にメナシ地方(道東の羅臼町、標津町周辺)に住んでいたアイヌの人たちが、ラッコの皮を松前藩主に貢物として贈ったことが記されています。



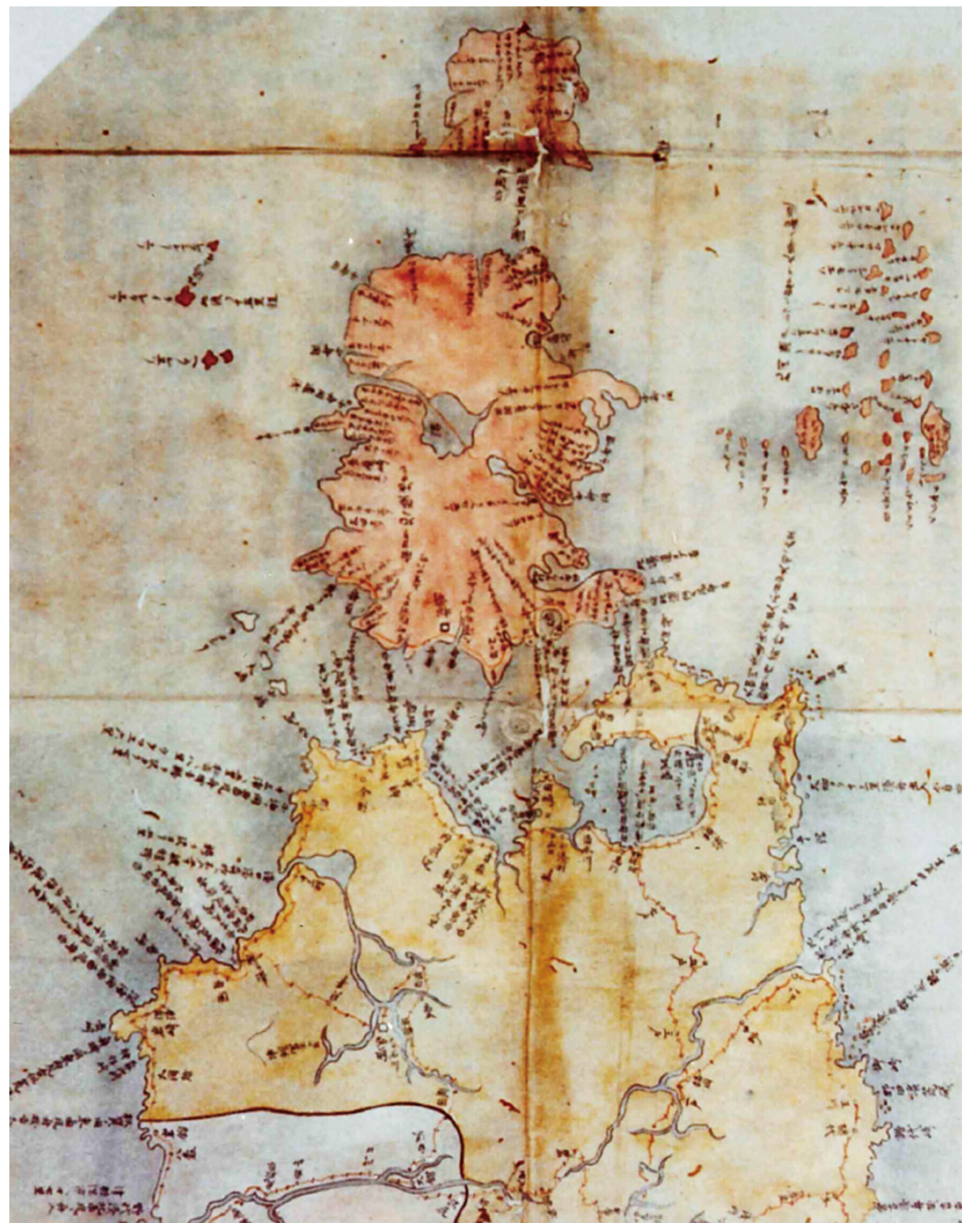
新羅之記録
写真提供：函館市中央図書館

日本はロシアより早く、
北方四島の存在を
知っていたんだぜ！



正保御国絵図

1644年(正保元年)に江戸幕府は「正保御国絵図」を作成するため、諸藩に命じて国絵図を提出させました。松前藩の地図には、「クナシリ(国後)」、「エトホロ(択捉)」など多くの島々が描かれています。



正保御国絵図

北方領土の開拓

ロシアの南進と日本の北方領土開拓

18世紀になるとロシアは活発に南下し、千島列島に現れて我が国と接触するようになりました。この動きを知った江戸幕府は、1785年（天明5年）に本格的に北方領土と千島列島の調査・開拓に乗り出し、最上徳内^{も がみ とく ない}を派遣しました。

その後、江戸幕府は国防上、近藤重蔵^{こん どうじゅうぞう}を国後島、択捉島^{く な し り と う え と ろ ぶ と う}に派遣し実地調査を行わせ、近藤重蔵は「大日本惠登呂府」^{だ い に っ ぽ ん え と ろ ぶ}の標柱を建てました。また、商人の高田屋嘉兵衛^{た か た や か へ え}は国後島と択捉島^{え と ろ ぶ と う}間の航路を開拓しました。



大日本惠登呂府の標柱



最上徳内

シーボルト「NIPPON」より
所蔵:福岡県立図書館



近藤重蔵



高田屋嘉兵衛



近藤重蔵が作成した蝦夷地図

写真提供: 北海道大学附属図書館

北方領土は
日本人が
開拓したんだぜ!



日魯通好条約

ロシアの南下政策が強められる中、
両国は国境を決めるための話し合いを
行い、1855年（安政元年）2月7日に
下田市（静岡県）で「日魯通好条約」
を結びました。

この条約によって、両国の国境は当時
自然に成立していた択捉島とウルップ島
の間に引かれ、^{えとろふとう} 択捉島、^{くなしりとう} 国後島、^{しこたんとう} 色丹島、
^{はほまいぐんとう} 歯舞群島の北方四島は日本の領土と
なりました。

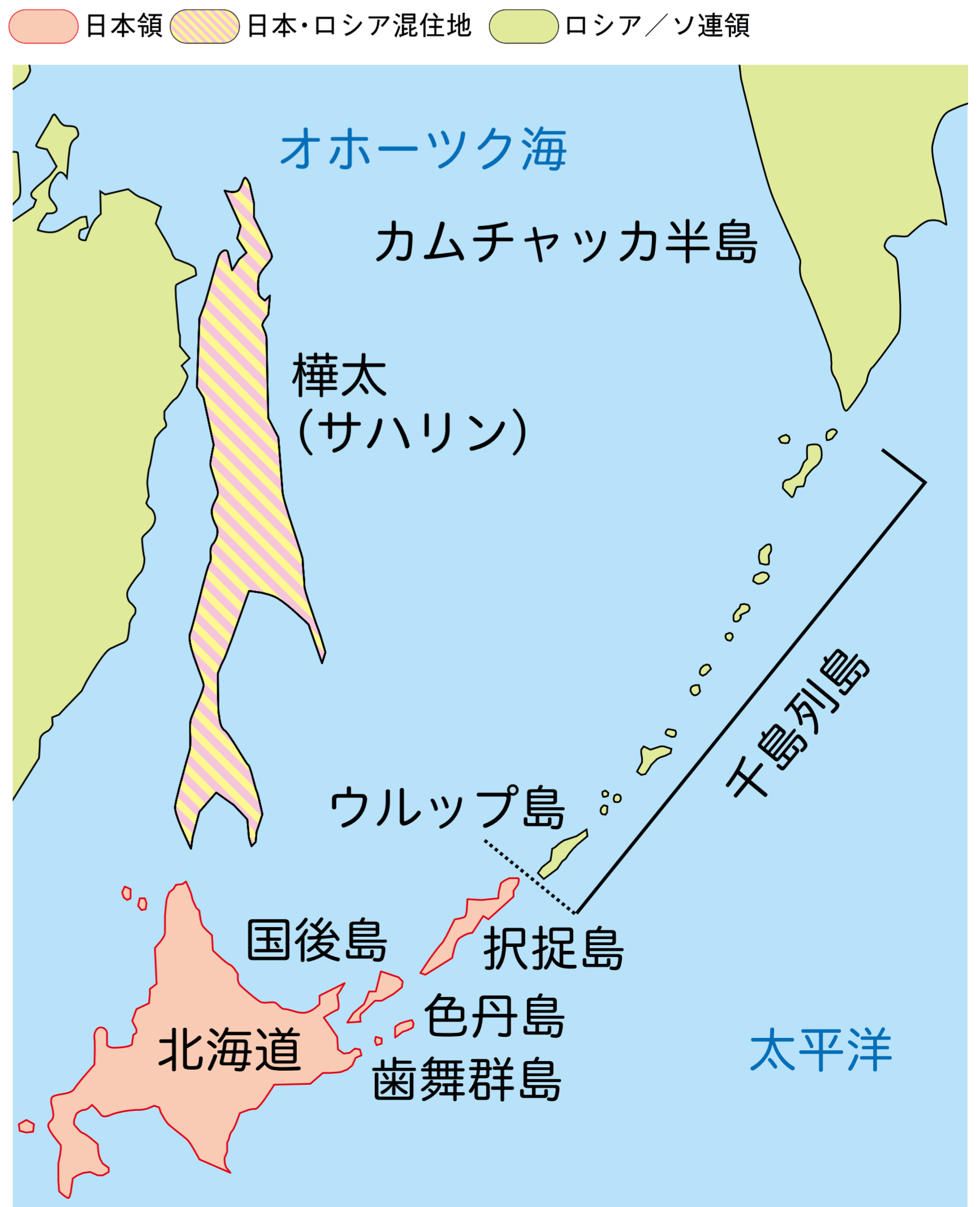
樺太については両国の混住の地と
なりました。

自然に成立していた国境を
ロシアとの話し合いで
決めたんだぜ！



日魯通好条約

第二条 今より後日本国と魯西亜国との境「エトロプ」島と「ウルップ」島との間に在るへし「エトロプ」全島は日本に属し「ウルップ」全島夫より北の方「クリル」諸島は魯西亜に属す

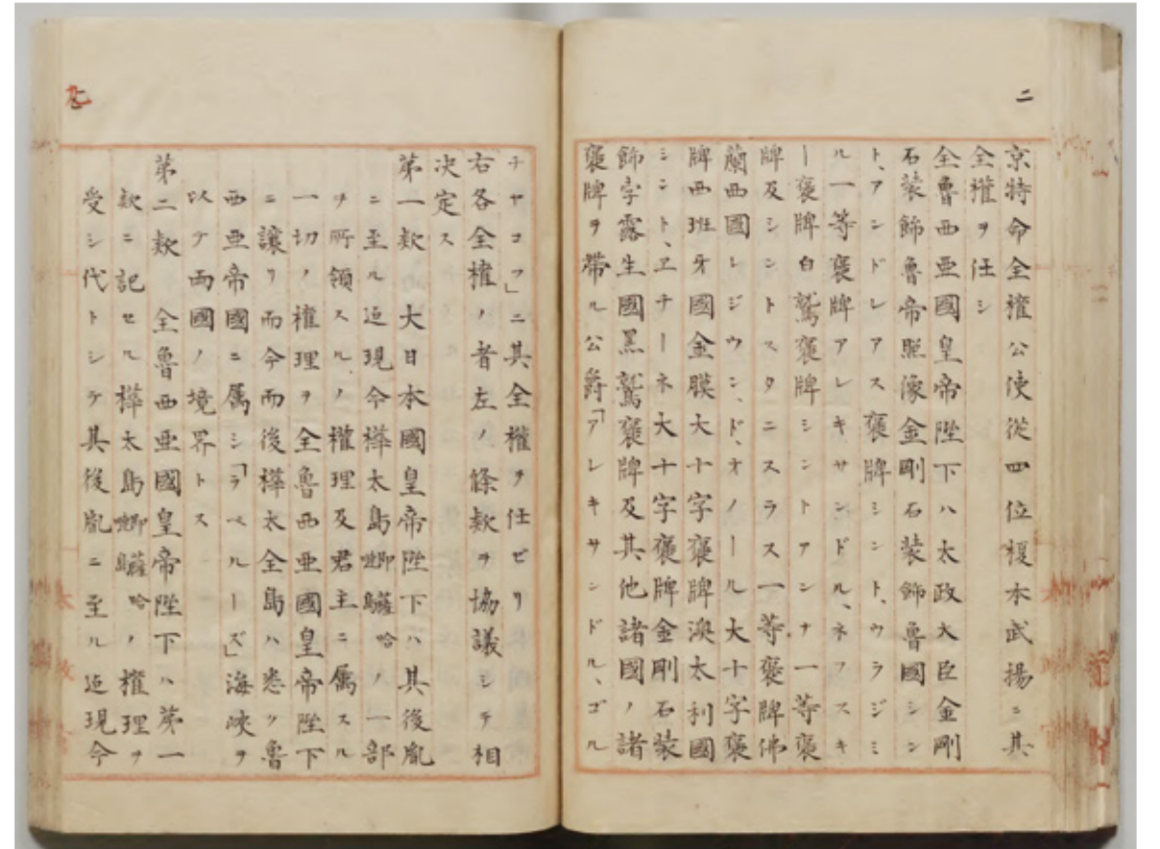


日魯通好条約に基づく国境線

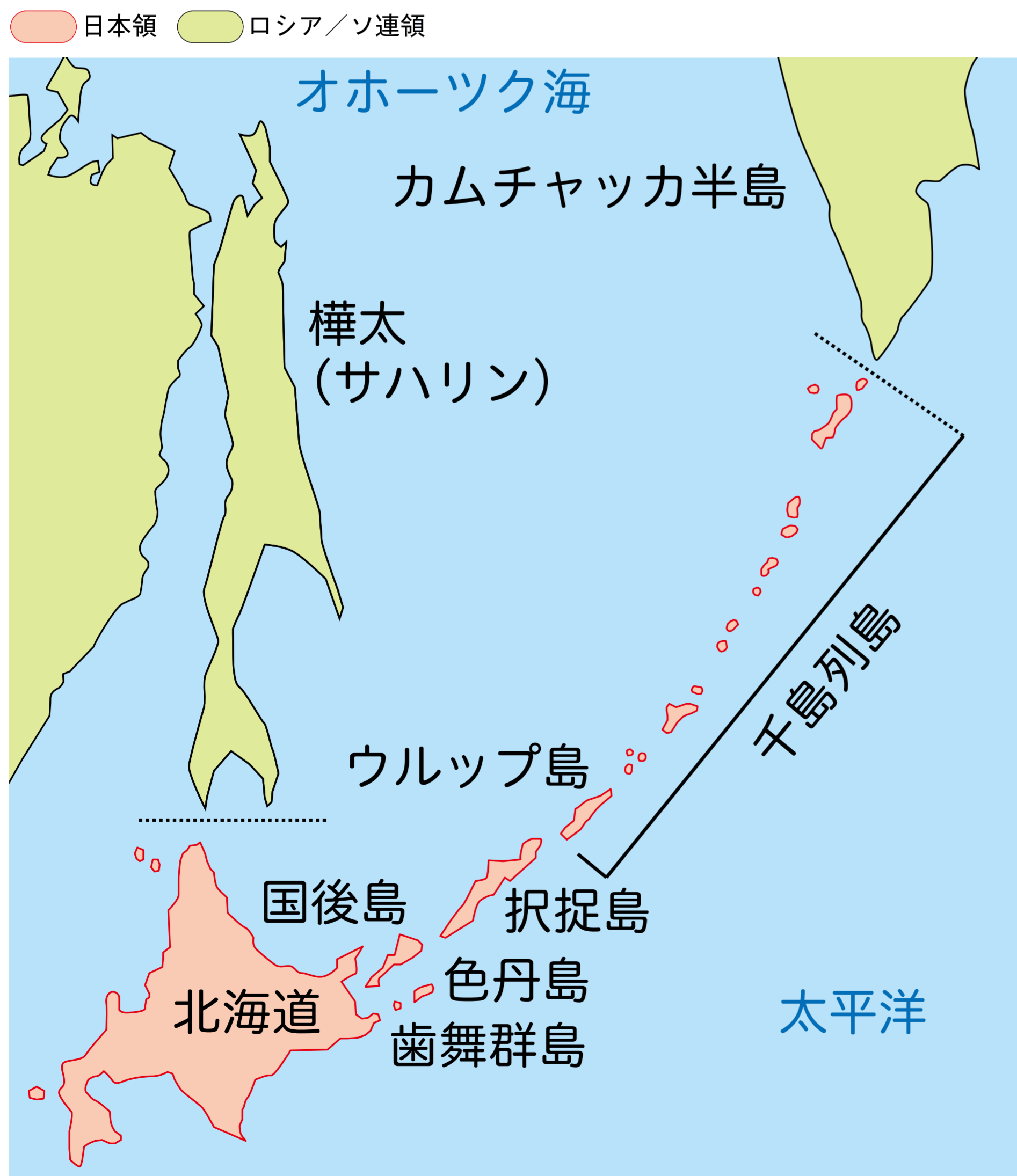
樺太千島交換条約

「日魯通好条約」で両国の混住の地とされた樺太では、日本人とロシア人との紛争が絶えなかったため、1875年（明治8年）、両国は「樺太千島交換条約」を結びました。

この条約によって、我が国は千島列島をロシアから譲り受けるかわりにロシアに対して樺太全島を放棄しました。この条約では、日本がロシアから譲り受ける千島列島の島として「シムシュ島からウルップ島までの18の島々」の名前を列挙しています。択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島は千島列島とは明確に区別されています。



樺太千島交換条約
資料提供：国立公文書館



樺太千島交換条約に基づく国境線

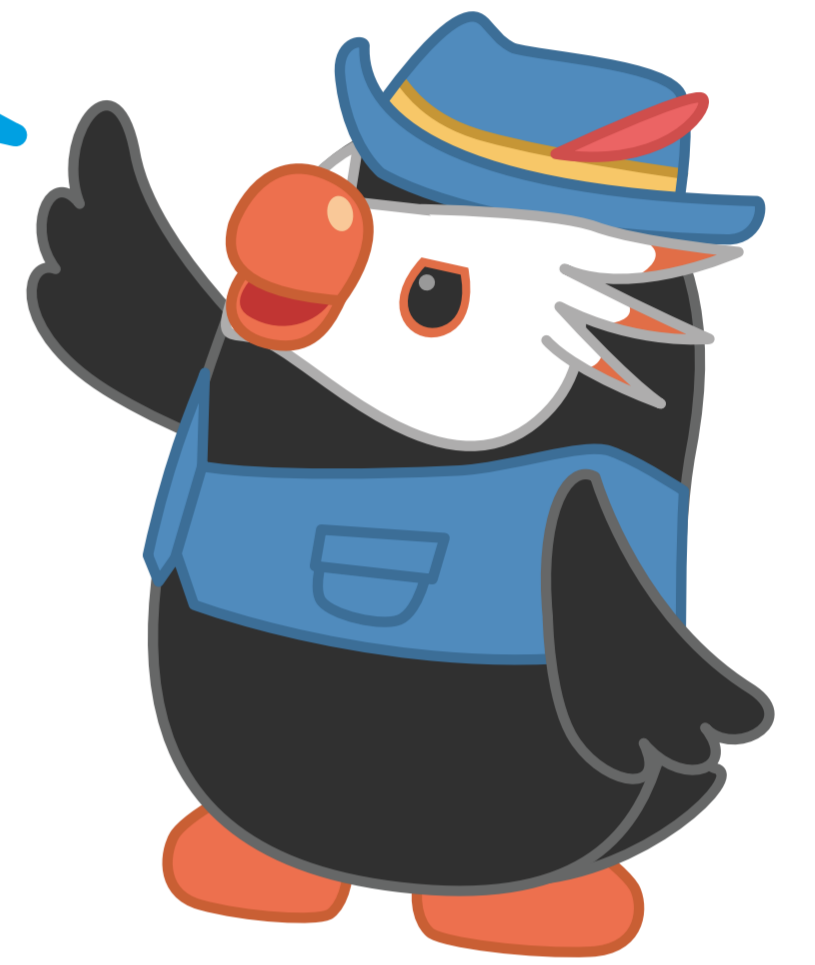
北方領土は千島列島と明確に区別されているんだ。だから北方領土は日本の島なんだぜ！



戦前の北方領土の暮らし

戦前、^{えとろふとう}択捉島に3村(留別村、^{るべつ}紗那村、^{しゃな}薬取村)、
^{くなしりとう}国後島に2村(泊村、^{とまり}留夜別村)、^{しこたんとう}色丹島に1村
 (色丹村)があり、^{はぼまいぐんとう}歯舞群島は根室に本村を有し
 ている^{はぼまい}歯舞村の離島でした。北方四島は豊かな
 水産資源に恵まれており、日本人は漁業や水産
 加工業を中心に暮らしていました。

豊富な水産資源が
 四島の暮らしを
 支えていたんだぜ！



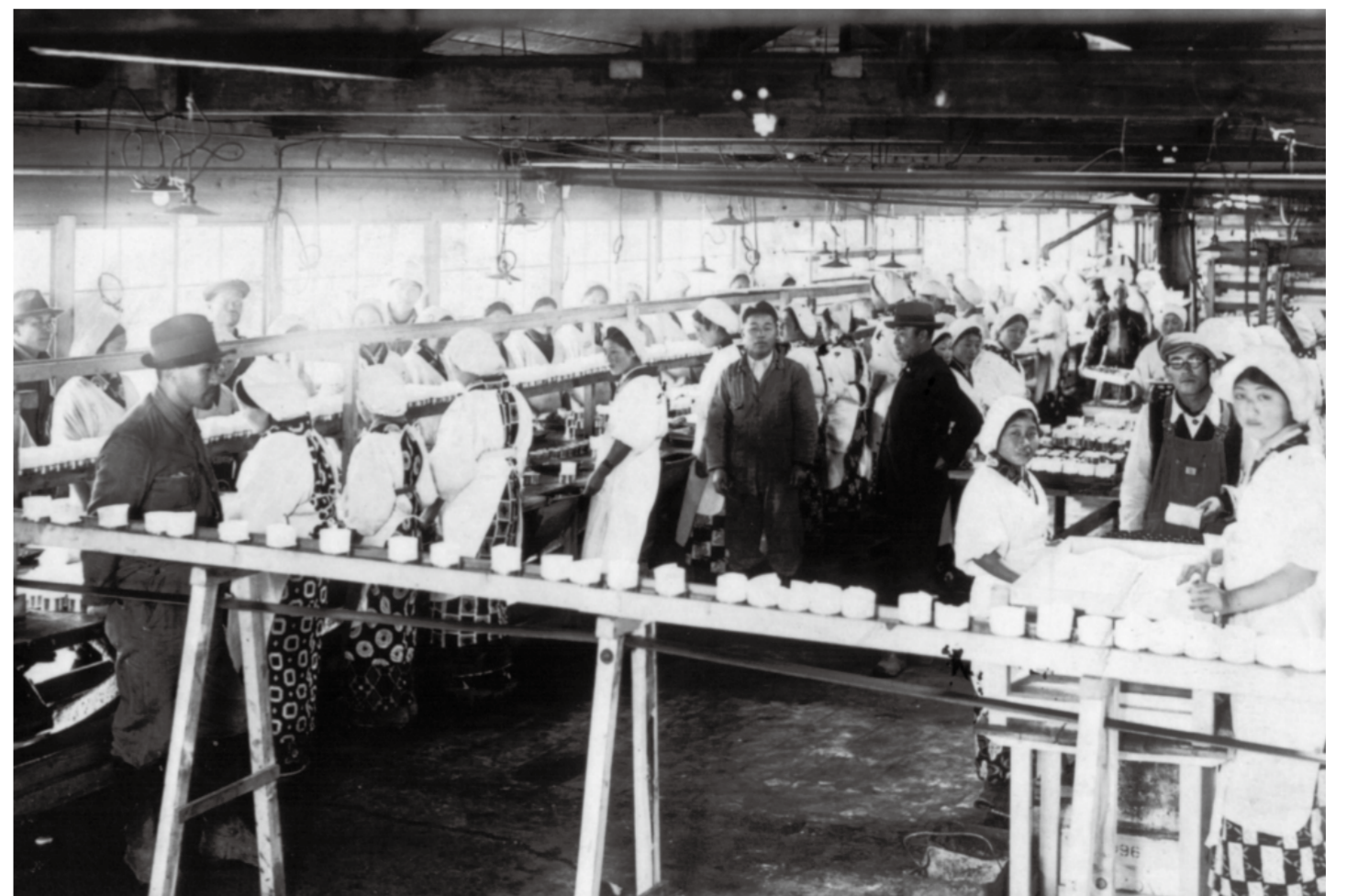
^{えとろふとう} 択捉島 ^{しゃな} 紗那の家並



^{くなしりとう} 国後島 小学校



^{しこたんとう} 色丹島 捕鯨場



^{はぼまいぐんとう} 歯舞群島・^{しぼつとう}志発島 缶詰工場

写真提供(4枚)：公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟

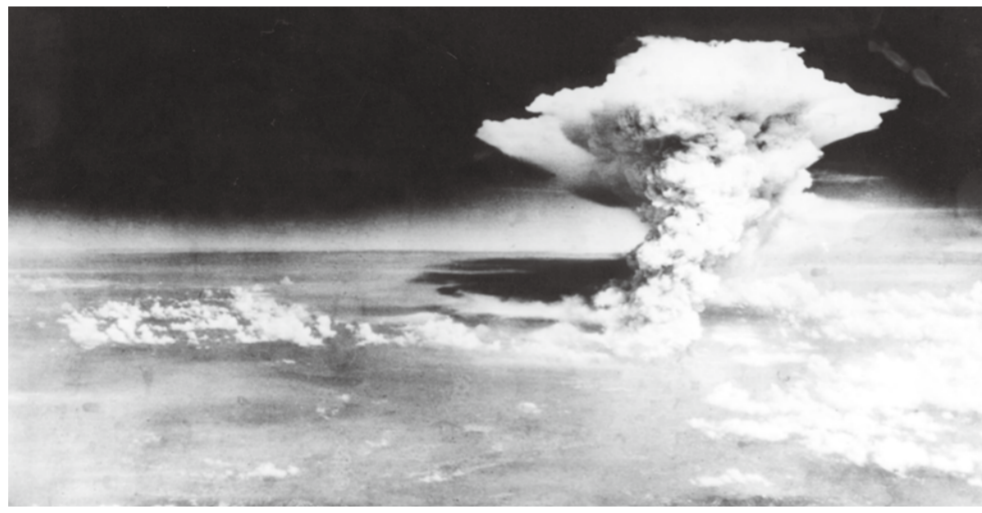
ソ連軍の北方領土への侵攻と占領

1945年（昭和20年）、ソ連は有効だった「日ソ中立条約」を一方的に破棄して対日参戦しました。ソ連軍は終戦後の同年8月28日から9月4日までの間に北方四島を武装解除し、遅くとも9月5日までに四島を占拠しました。

1945年(昭和20年)

8月6日

広島に原爆が投下される



米軍撮影/写真提供:広島平和記念資料館

8月9日

長崎に原爆が投下される
ソ連が「日ソ中立条約」を一方的に破棄して対日参戦

8月14日

日本が「ポツダム宣言」を受諾

8月15日

終戦



写真提供:共同通信社

8月18日

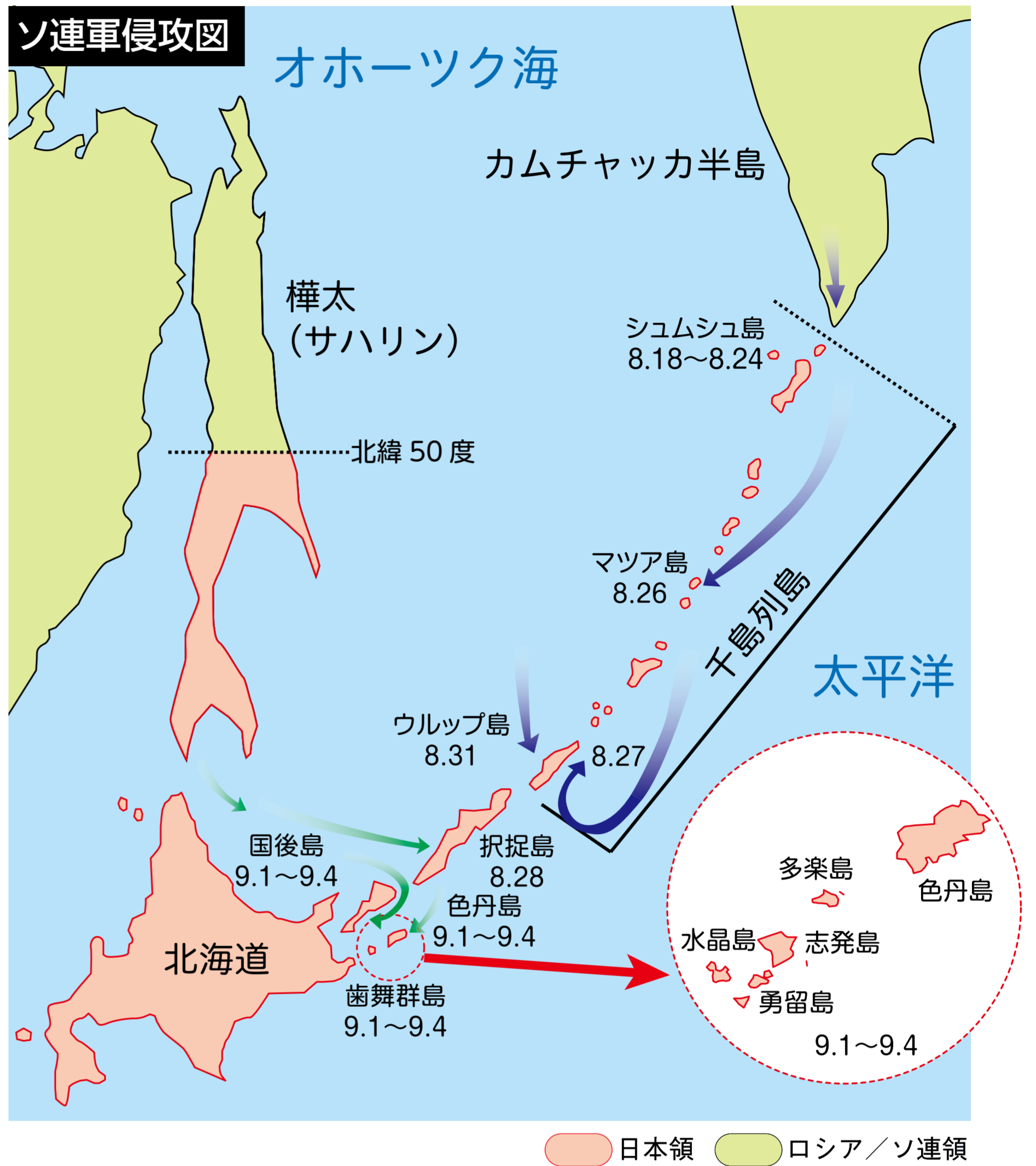
ソ連軍がシュムシュ島を攻撃開始、同月24日までに武装解除

8月31日

ソ連軍、ウルップ島武装解除

8月28日
~9月5日

北方四島にアメリカ軍が進駐していないことを知ったソ連の別働隊が択捉島以南の島々を次々に占拠以来、今日までのソ連(いまのロシア)による北方四島の不法占拠が続いている



ソ連が日ソ中立条約を一方的に破棄して北方領土を占拠したんだぜ！



北方四島からの引き揚げ

北方四島に暮らしていた日本人は、恐怖と不安から危険を冒して各島から脱出しました。四島に留まった人々も強制的に四島を追われ、1947年（昭和22年）から1948年（昭和23年）にかけて樺太経由で大変な苦勞をしながら日本本土に引き揚げさせられました。

現在、北方四島には日本人は一人も住んでいません。

脱出した元島民の遭難を目撃した人の証言

昭和20年10月28日にくなしりとう国後島から脱出した30名あまりを乗せた船が、大シケのために目的地の根室港を目前にして転覆してしまいました。その光景たるや誠に悲惨なものでした。

えとろふとう択捉島から引き揚げさせられた元島民の証言

私たちは船の一番下のハッチに押し込められたために、3人が死亡しました。船が出港し何日か経った頃、誰かの「とうだい小樽の燈台が見えるぞ！」という声で起きました。結局のところ、ソ連にだまされたのです。船は樺太に着きました。

ふるさとの北方領土を追われた日本人がいるんだぜ。



強制送還される元島民